

## 2015 年度前期

### 学生による授業評価アンケートの結果（学科等・研究科専攻等ごと）

本学では、全授業について授業評価を行い、教育の質の向上や授業改善に活用しています。詳しくは「授業評価による教育の質の向上と授業改善の方針」をご覧ください。

#### I. 共通評価項目の集計結果

2015 年度前期の授業評価の共通評価項目は、出席状況、学生の取り組み方（4 項目）、教員の取り組み方（11 項目）、授業（4 項目）、授業を受けた結果（7 項目）、よかった点と改善してほしい点・要望（自由記述）から構成されています。各評価項目については、巻末の参考 2 を参照してください。

評価項目ごとの回答は、1～4 の選択肢とし、1 が低い評価、4 が高い評価を表し、2.5 が中間となります。

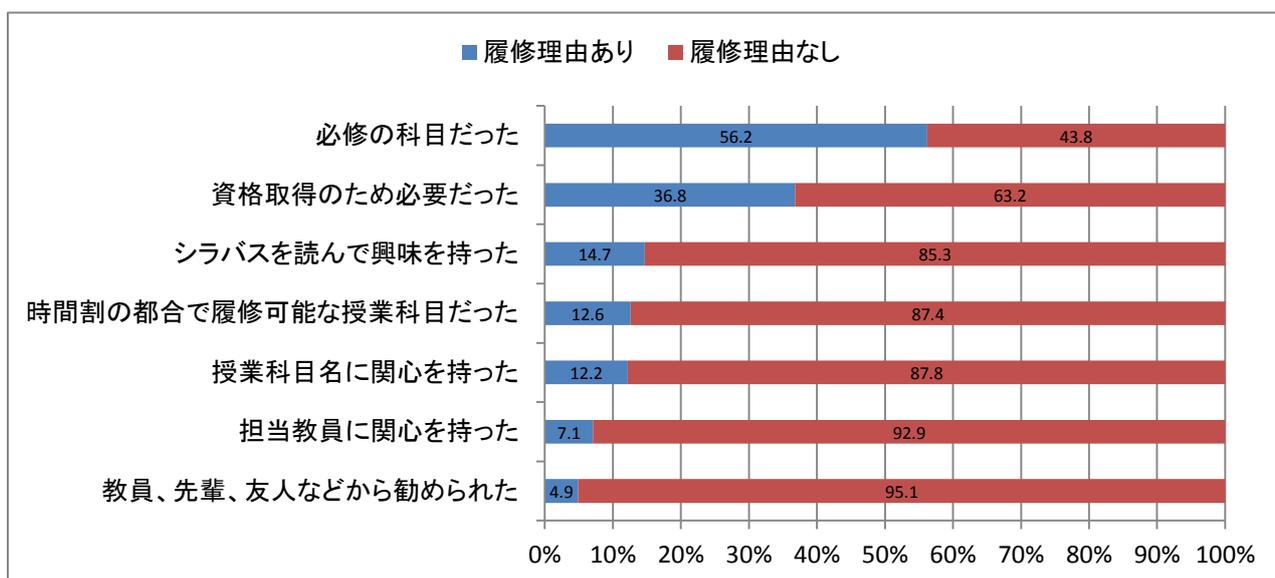
以下は、履修の理由・目的と学部学科等・研究科専攻等ごとに基幹的科目（当該学部学科等・研究科専攻等の特色や専門性を表す科目）についての評価の平均値を示しています。

履修の理由・目的では、必修と資格取得のための履修が多いですが、シラバスを読んで興味を持ったという理由も約 15% ありました。教員は学生にとって興味をひくようなシラバスを作成することが望まれます。

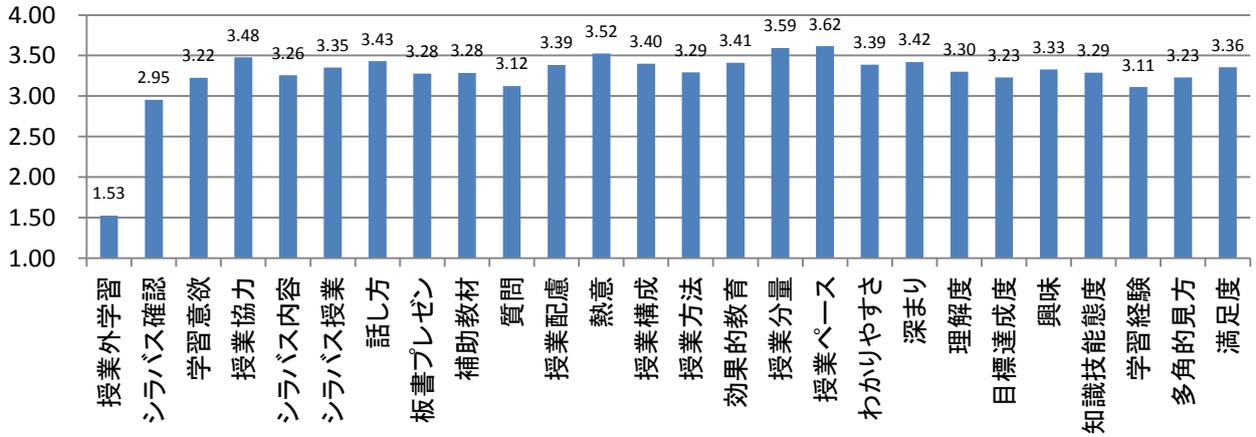
全学及びどの学部学科等・研究科専攻等においても、授業時間外学習（学修）以外の評価項目では、概ね 3～4 の数値の高い評価を受けています。特に、ゼミ、外国語科目、スポーツ実技科目、教育学科初等教育専攻で高い結果となっています。また、大学院はかなり高い結果であり、充実した授業であることが示されました。

今後は、受講学生の皆さんには授業時間外学習（学修）とシラバスの確認の取り組み、教員にはアクティブラーニングによる学習の促進と質問しやすい工夫の取り組みが望まれます。

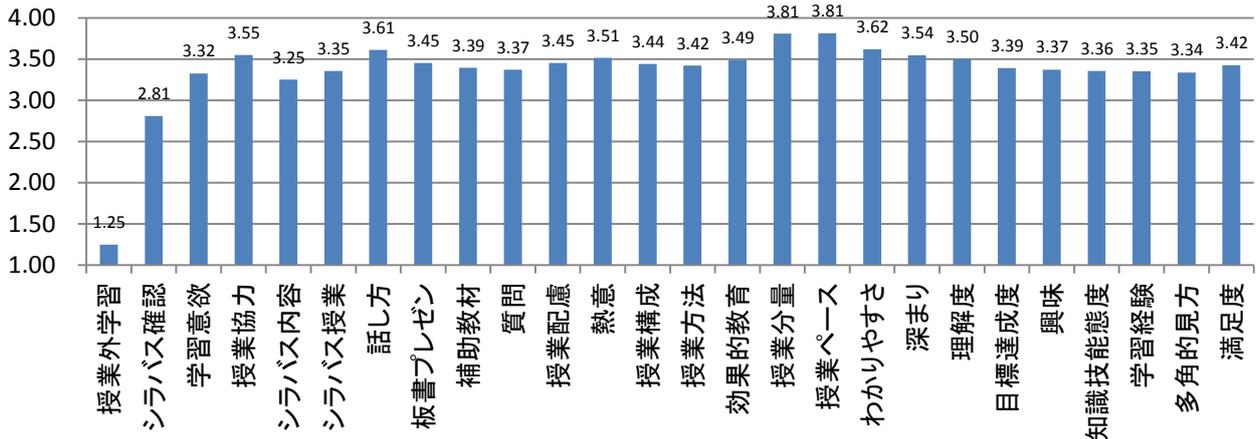
なお、基幹的科目とそれらの科目の平均回答率については、参考 1 を参照してください。



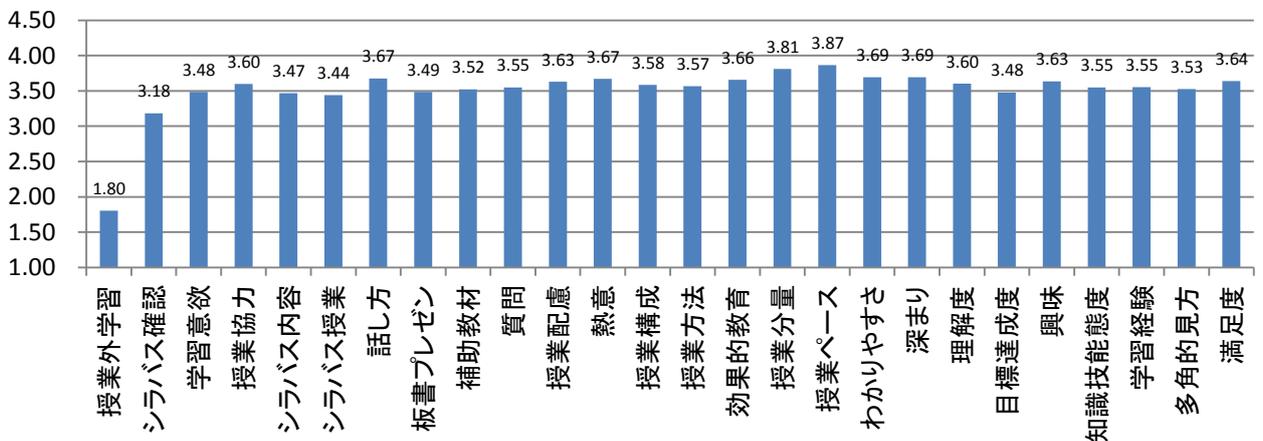
## 全学(実施の全科目)



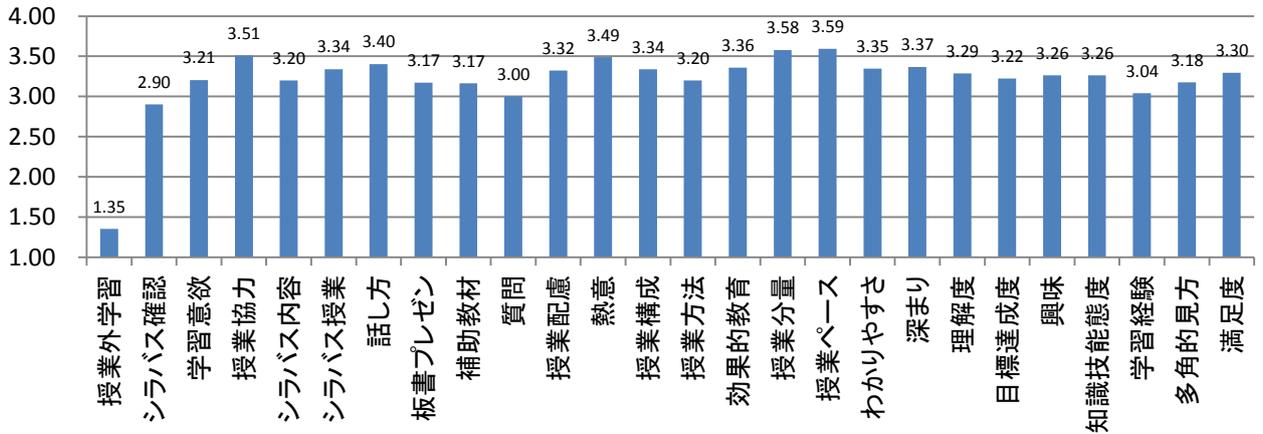
## リエゾンゼミ I (初年次教育)



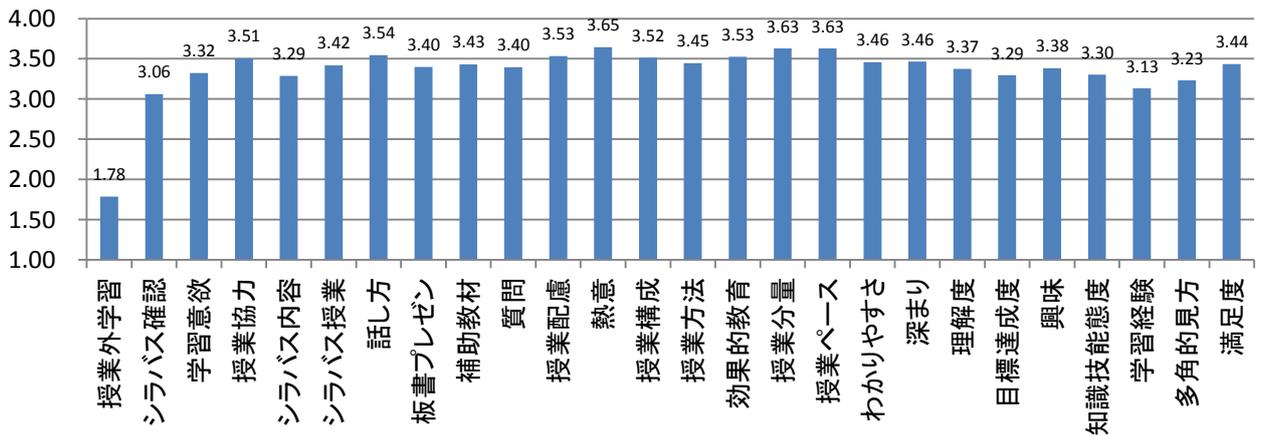
## ゼミ(2年次~4年次)



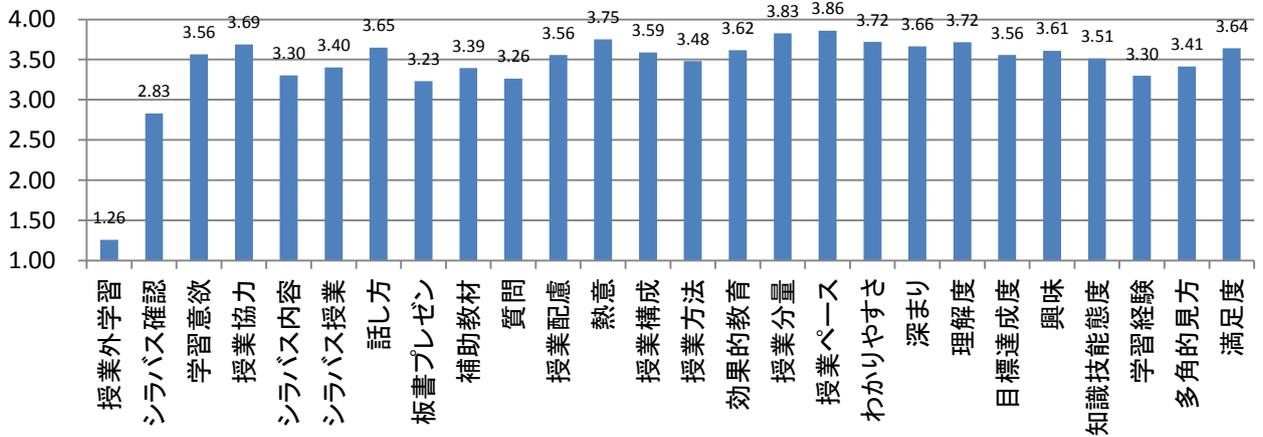
## 教養科目



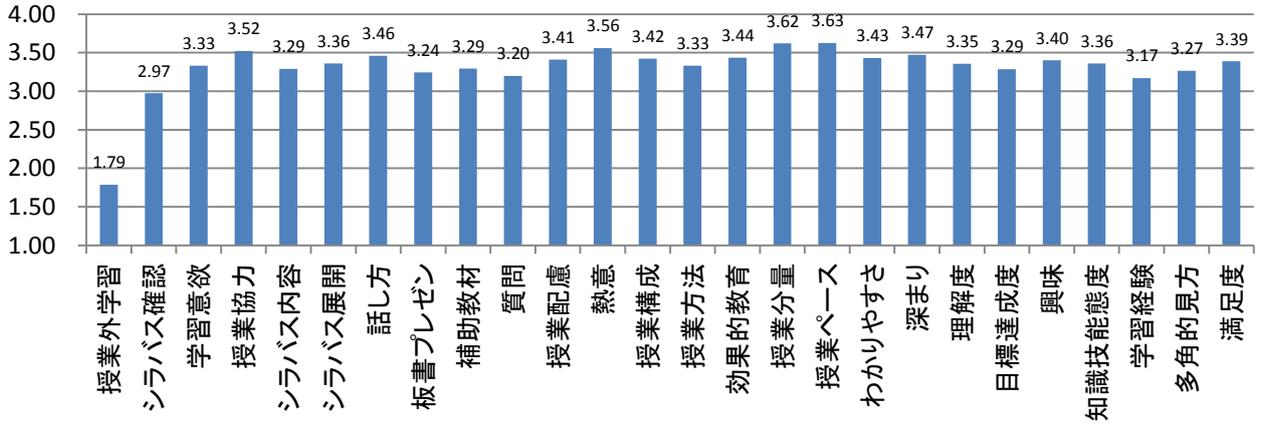
## 外国語科目



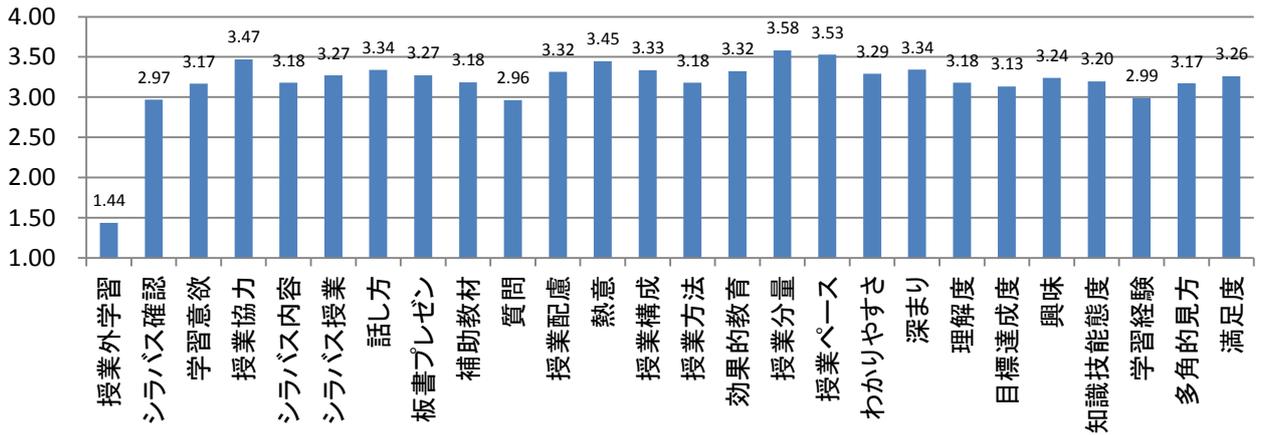
## スポーツ実技科目



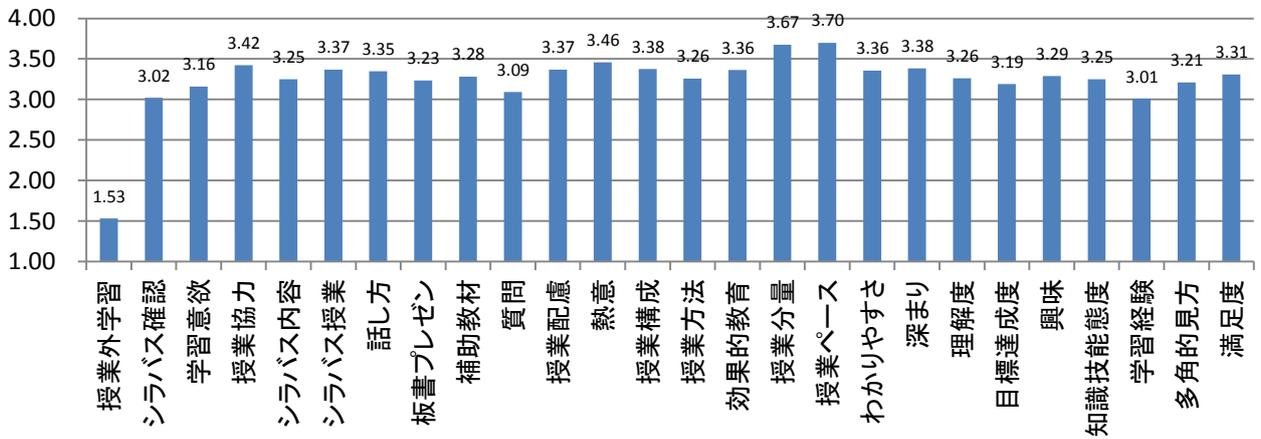
## 社会福祉学科



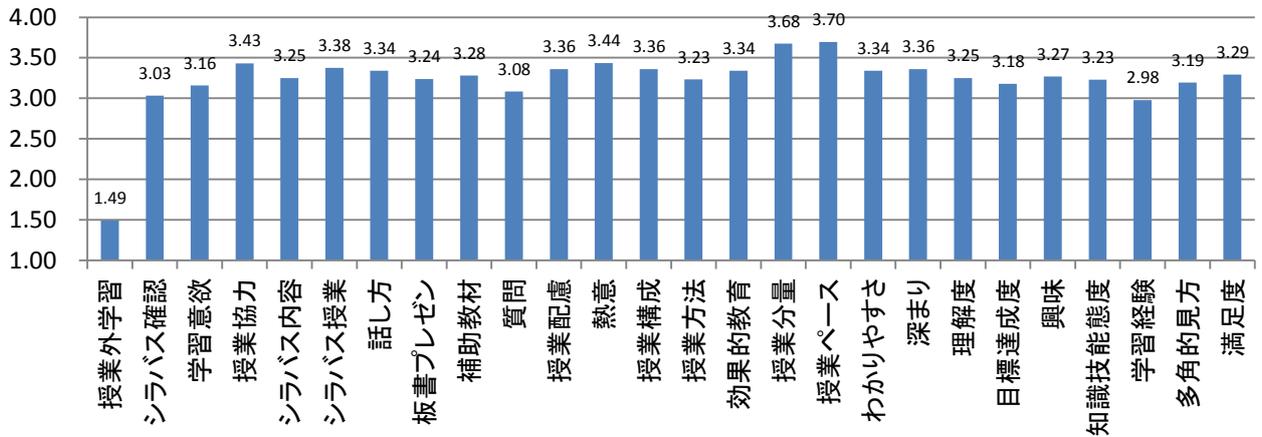
## 福祉行政学科



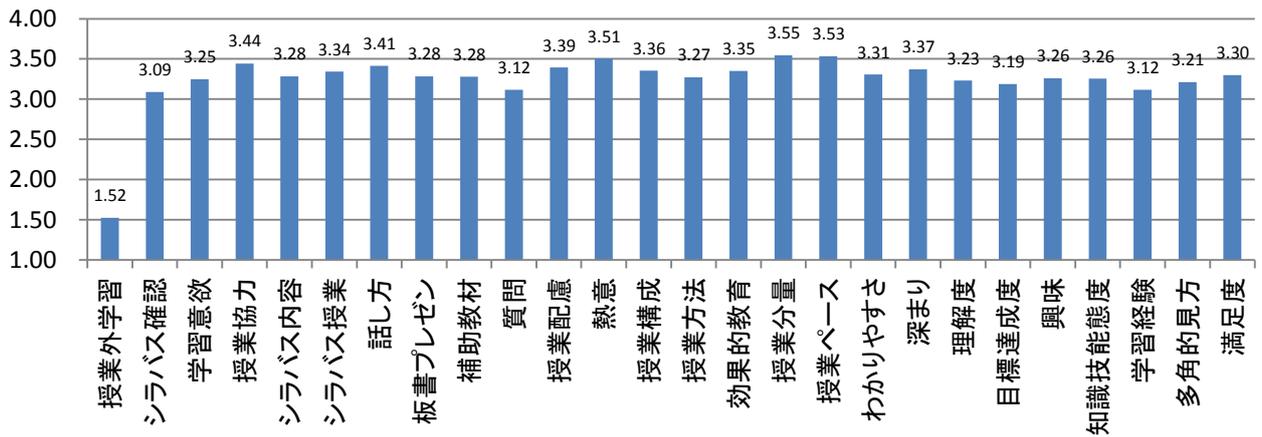
## 福祉心理学科



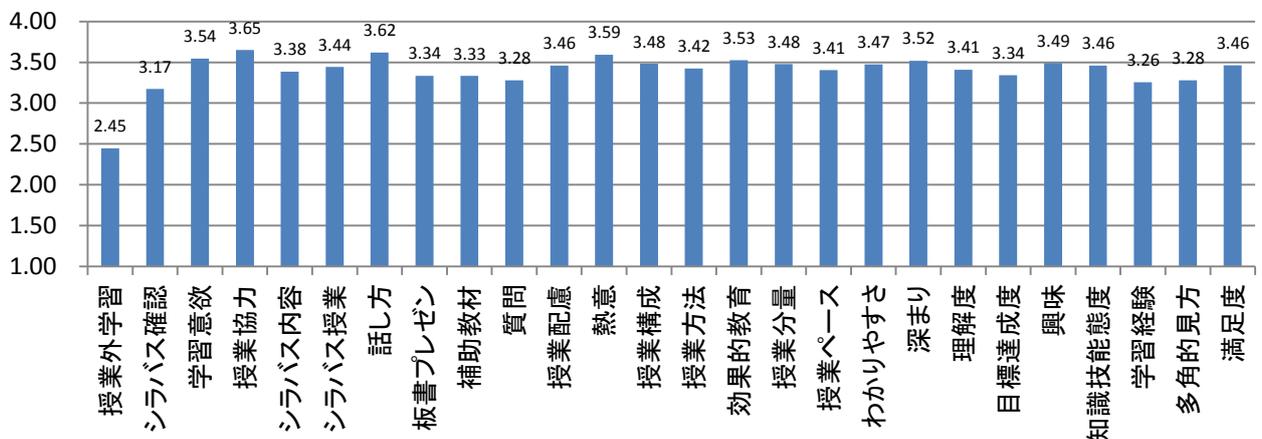
## 産業福祉マネジメント学科



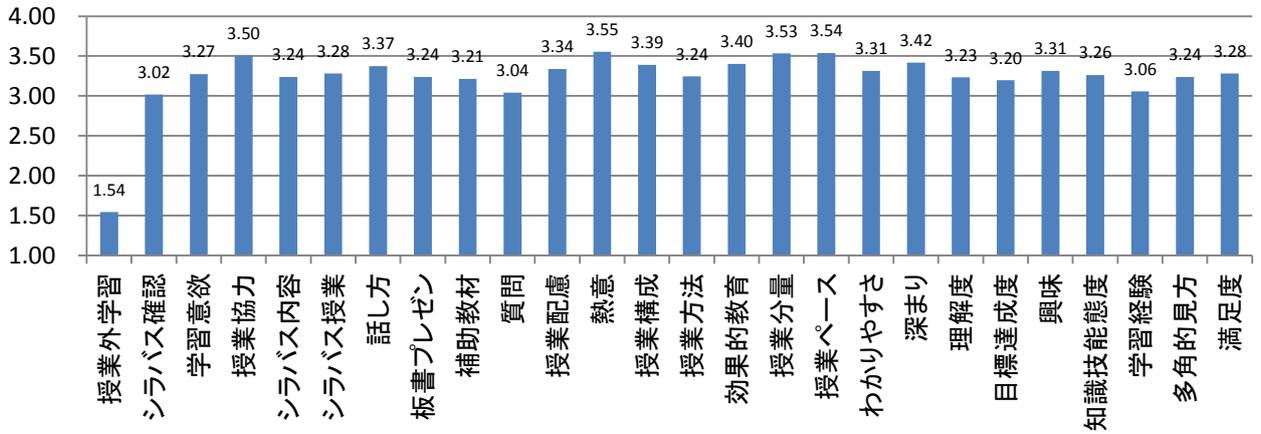
## 情報福祉マネジメント学科



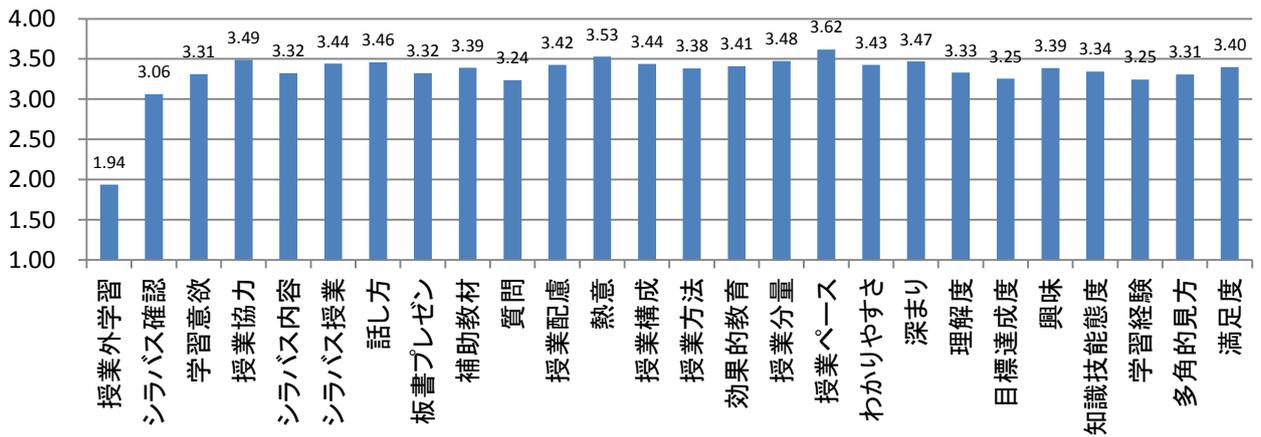
## 教育学科初等教育専攻



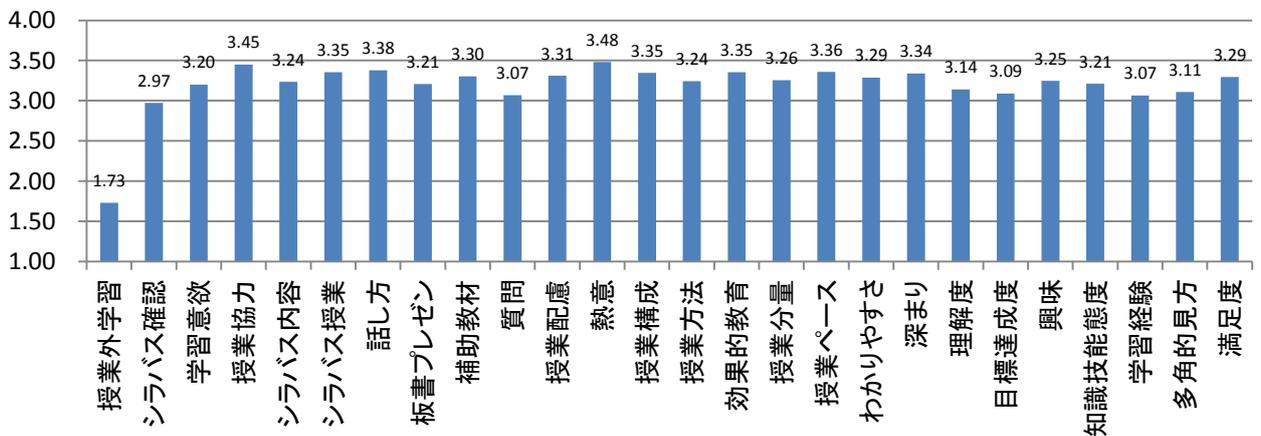
## 教育学科中等教育専攻



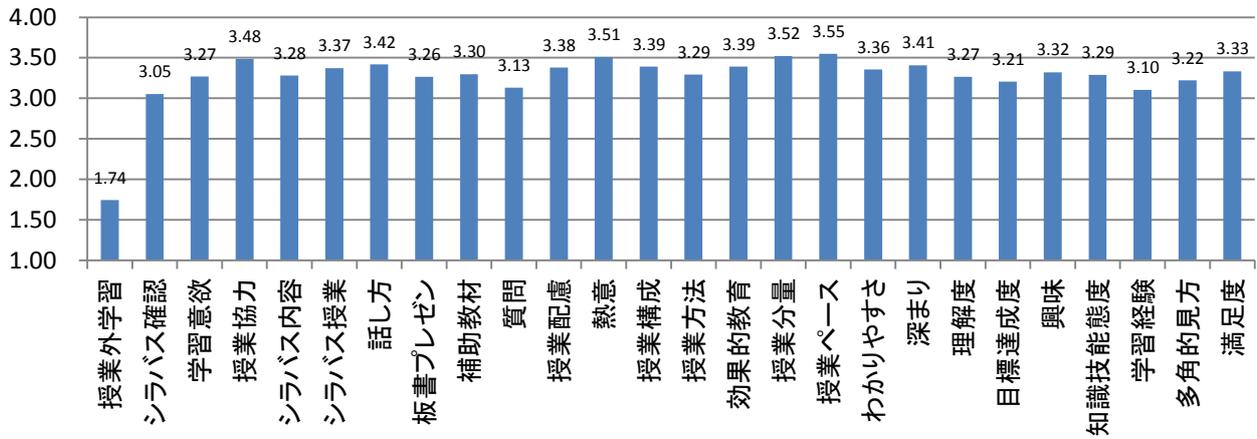
## 保健看護学科



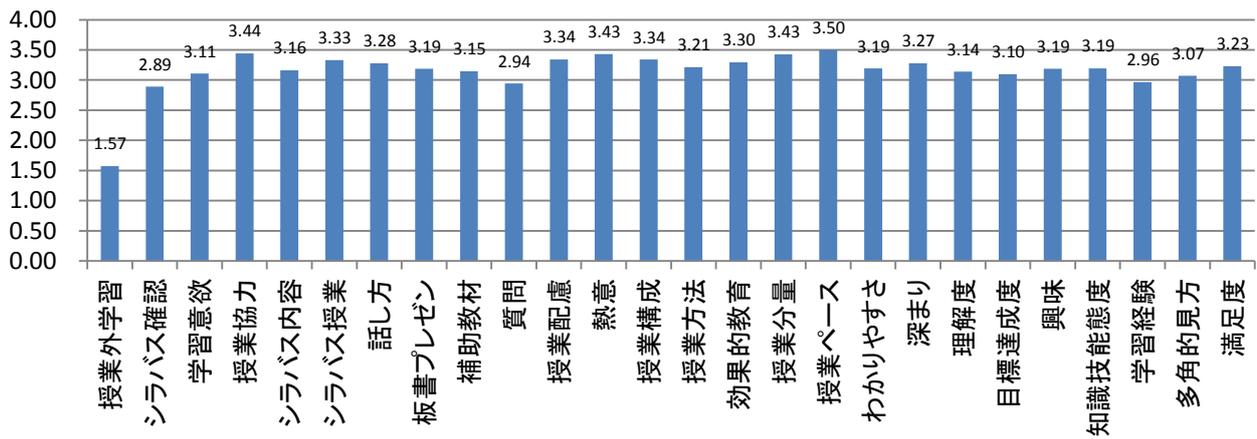
## リハビリテーション学科作業療法専攻



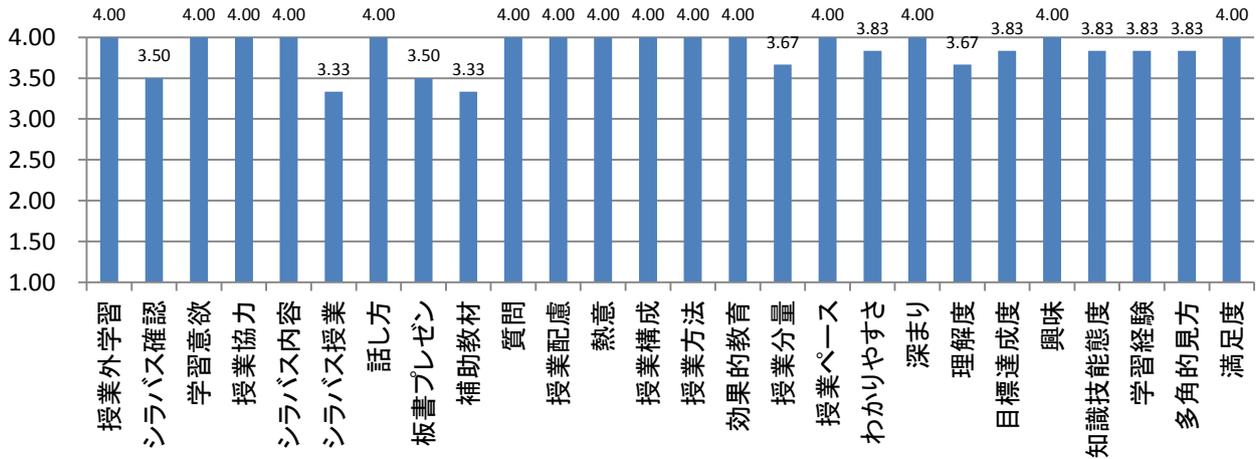
## リハビリテーション学科理学療法専攻



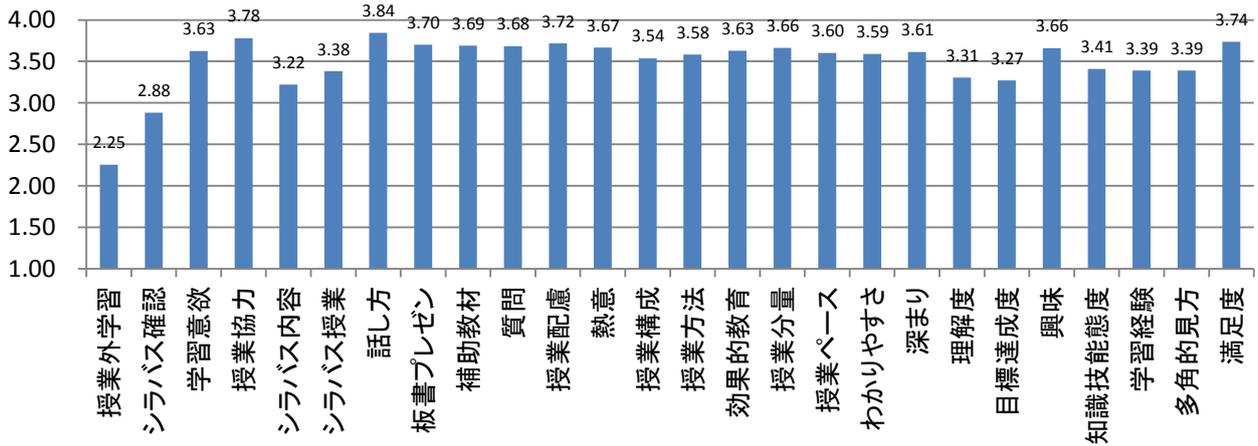
## 医療経営管理学科



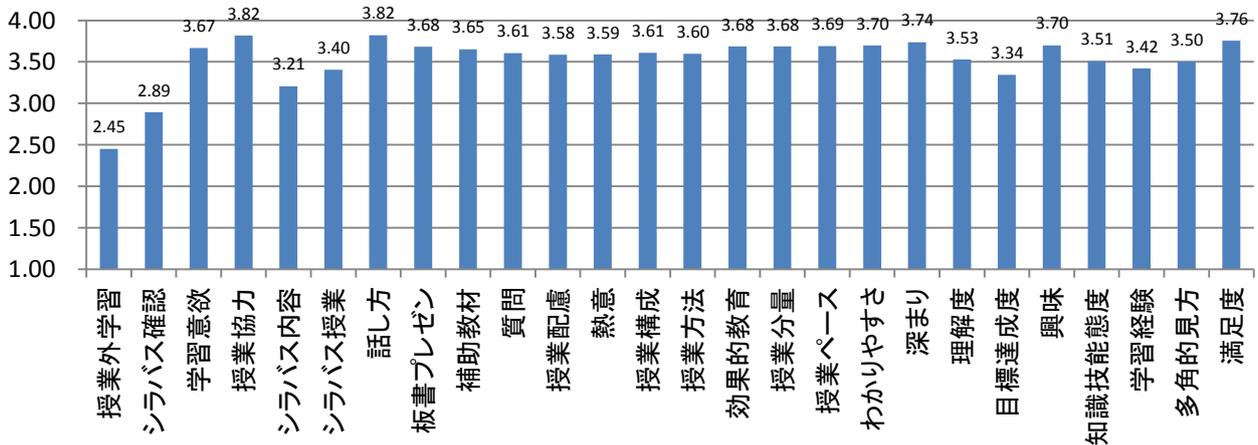
## 総合福祉学研究科社会福祉学専攻



## 総合福祉学研究科福祉心理学専攻 福祉心理学分野



## 総合福祉学研究科福祉心理学専攻 臨床心理学分野

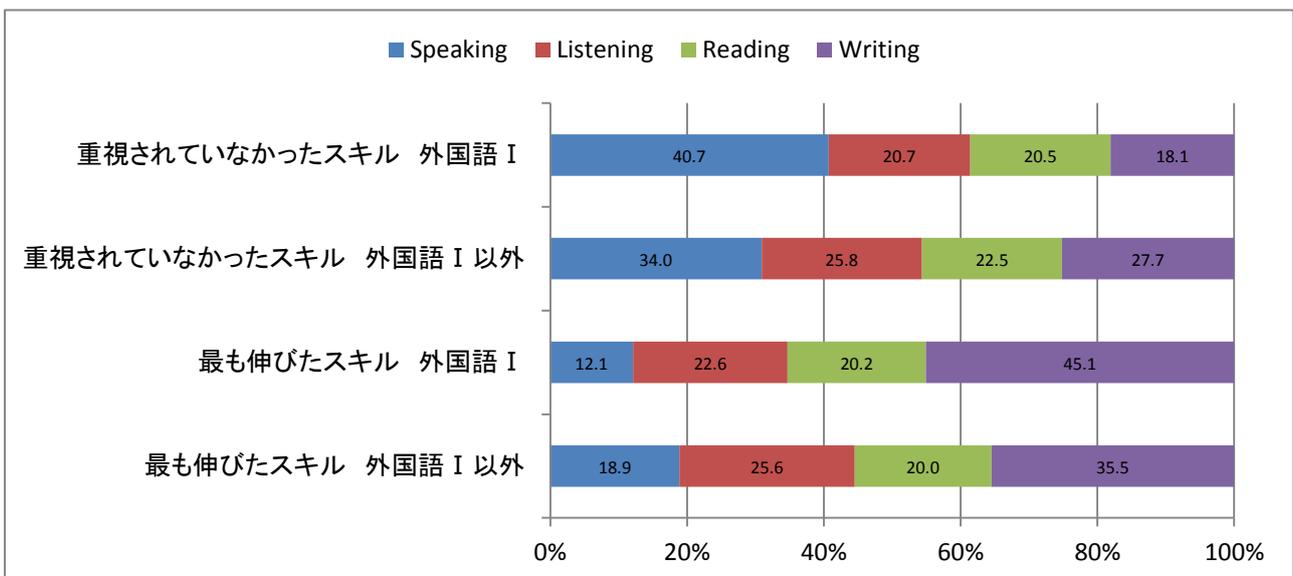
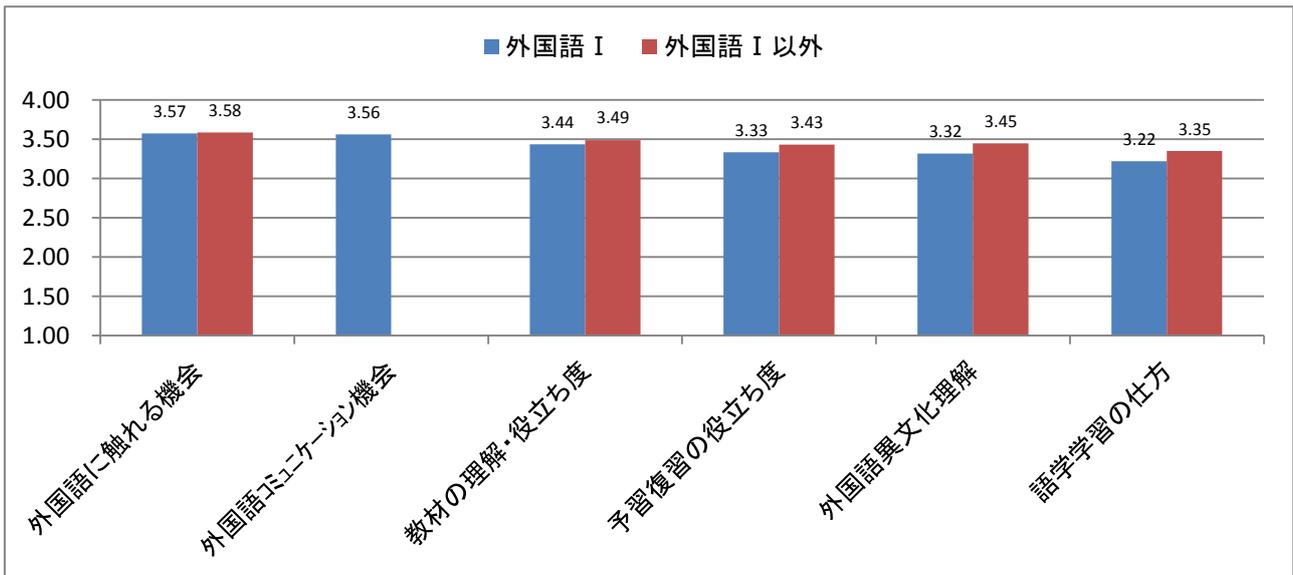


## II. 外国語科目における追加評価項目の集計結果

外国語科目では、共通評価項目以外に、外国語 I では 8 項目、外国語 I 以外では 7 項目の追加評価項目を設けて授業評価を実施しています。各評価項目については、巻末の参考 3 を参照してください。

項目ごとの回答は、1～4 の選択肢とし、1 が低い評価、4 が高い評価を表し、2.5 が中間となります。

以下は、それらの項目ごとの平均値を示しています。どの項目においても、概ね 3～4 の数値の高い評価を受けています。また、今後は、Speaking のスキルの学習の充実が望まれます。



参考 1 学部学科等・研究科専攻等の基幹的科目 (2015年8月掲載時)

学部	学科等(平均回答率)	基幹的科目 (赤字…今回の授業評価の集計対象科目)
全学	リエゾンゼミ I (59.4%)	リエゾンゼミ I (基礎演習)
全学	2年次～4年次ゼミ (56.4%)	リエゾンゼミ II (専門基礎演習) 専門演習 I、心理学演習 I、教育学演習 I、社会教育演習 I 専門演習 II、心理学演習 II、教育学演習 II、社会教育演習 II
総合基礎 課程	教養科目 (63.3%)	<p>禅のこころ、仏教入門 (建学の精神・理念を含む)、哲学入門、倫理学入門、宗教学入門、文学入門、芸術入門、ことばと表現</p> <p>生物学の基礎、化学の基礎、物理学の基礎、天文学の基礎、数学の基礎、統計学の基礎、心理学の基礎、地理学の基礎</p> <p>現代社会を見る眼、現代福祉の基礎、法の基礎、政治学の基礎、経済学の基礎、社会学の基礎、歴史学の基礎、教育学の基礎</p> <p>情報処理論、情報処理実習、情報処理応用実習</p> <p>キャリアデザイン I、キャリアデザイン II、キャリアデザイン III、インターンシップ I、インターンシップ II</p> <p>Study Abroad A (アジア)、Study Abroad B (北米)、Study Abroad C (オセアニア)、Study Abroad D (ヨーロッパ)、Study Abroad E (その他の地域)</p> <p>リスクと社会、災害と社会、情報と社会、ボランティア論、福祉ボランティア活動 I (地域貢献活動を含む)、福祉ボランティア活動 II (地域貢献活動を含む)、福祉ボランティア活動 III (地域貢献活動を含む)、福祉ボランティア活動 IV (地域貢献活動を含む)</p> <p>異文化コミュニケーション、アジア共同体に向けて</p> <p>健康科学、食と生活、生涯スポーツ論、リクリエーション論、スポーツ社会学、スポーツの心理学、スポーツ医学</p>
	外国語科目 (76.5%)	<p>英語 I (コミュニケーションを含む)、英語 II、英語 III、実用英語 A、実用英語 B、実用英語 C、実用英語 D、実用英語 E、実用英語 F</p> <p>ドイツ語 I (コミュニケーションを含む)、ドイツ語 II、ドイツ語 III、実用ドイツ語 A、実用ドイツ語 B</p> <p>ハングル講座 I (コミュニケーションを含む)、ハングル講座 II、ハングル講座 III、実用ハングル講座 A、実用ハングル講座 B</p> <p>中国語 I (コミュニケーションを含む)、中国語 II、中国語 III、実用中国語 A、実用中国語 B</p> <p>日本語 I (留学生対象)、日本語 II (留学生対象)、日本語 III (留学生対象)、日本語 IV (留学生対象)、実用日本語 A (留学生対象)、実用日本語 B (留学生対象)</p> <p>グローバルコミュニケーション、グローバルコミュニケーション I、グローバルコミュニケーション II</p>
	スポーツ実技科目 (58.5%)	スポーツ I、スポーツ II、スポーツ III

総合福祉 学部	社会福祉学科 (62.6%)	<p>社会福祉原論（職業指導を含む）、社会保障論、福祉法学、福祉心理学、福祉社会学、人権と現代福祉、福祉思想論、生命倫理学、社会福祉史（日本）、社会福祉史（西洋）、社会福祉行財政論、社会福祉法制論、社会福祉援助技術総論</p> <p>児童・家庭福祉論、高齢者福祉論、介護論、障害者福祉論、女性福祉論、社会政策論、地域福祉論、国際福祉論、医療福祉概論、公的扶助論、保育実践演習、地域マネジメント論、地域活性化マネジメント論、地域共創福祉論、地域共創実学教育Ⅰ、地域共創実学教育Ⅱ、地域共創実学教育Ⅲ、地域共創実学教育Ⅳ</p> <p>社会福祉援助技術論Ⅰ、社会福祉援助技術論Ⅱ、社会調査の基礎、福祉計画法、福祉経営論、保健医療サービス論、就労支援サービス論、医学一般Ⅰ</p> <p>精神医学、精神保健学、精神保健福祉援助技術総論Ⅰ、精神保健福祉援助技術総論Ⅱ、精神保健福祉の理論、精神保健福祉援助技術各論、精神科リハビリテーション学、精神保健福祉のサービス、精神保健福祉の制度、精神障害者の生活支援システム</p> <p>介護概論、介護福祉論Ⅰ、介護福祉論Ⅱ、リハビリテーション論、家政学概論、介護技術Ⅰ、介護技術Ⅱ、介護技術Ⅲ、家政学実習、手話・点字、レクリエーション活動援助法、形態別介護過程Ⅰ、形態別介護過程Ⅱ、介護過程論、認知症の理解と支援Ⅰ、認知症の理解と支援Ⅱ、老年心理学、障害者の心理、障害の基礎医学、医学一般Ⅱ、医学一般Ⅲ</p> <p>保育原理、保育者論、教育学概論 A、社会的養護、社会的養護内容、保育の心理学Ⅰ、保育の心理学Ⅱ、子どもの保健Ⅰ、子どもの保健Ⅱ、子どもの食と栄養、家庭支援論、保育内容総論、保育内容研究（健康）、保育内容研究（環境）、保育内容研究（人間関係）、保育内容研究（言葉）、保育内容研究（運動あそび）、保育内容研究（音楽）、保育内容研究（美術）、保育課程論、保育相談支援、教育方法論（情報機器及び機材の活用を含む）A、表現技術Ⅰ（音楽）、表現技術Ⅱ（音楽）、表現技術Ⅲ（美術）、表現技術Ⅳ（体育実技）、音楽教育、乳児保育、障害児保育、特別支援教育の基礎、児童美術論、幼児運動論</p> <p>スクールソーシャルワーク論</p> <p>社会学原論、政治学原論（国際政治を含む）、経済原論（国際経済を含む）、財政学、家族社会学、公衆衛生学、行政学、地方自治、日本国憲法、民法総則、心理学概論、社会病理学</p> <p>知的障害者福祉論、肢体不自由者の心理・生理・病理、聴覚障害者の心理、乳幼児心理学、人間関係論、福祉産業論、社会福祉法制、福祉用具と生活支援Ⅰ、福祉用具と生活支援Ⅱ、福祉用具活用実習、福祉支援工学、福祉システム論、病理学、病院管理学、社会心理学、解剖生理学、基礎運動学（バイオメカニクス）、家族心理学、睡眠健康科学、児童精神医学、医療的ケアⅠ、医療的ケアⅡ、医学的リハビリテーション論、医療社会学、国際協力論、国際福祉特講、救急処置法、高齢者の保健福祉とリハビリテーション、ケアマネジメント論、社会保険論、社会調査法（社会調査統計を含む）、労働法（労働組合法を含む）、債権法、行政法、家族法、商法</p>
	福祉行政学科 (55.1%)	<p>社会福祉原論（職業指導を含む）、福祉法学、高齢者福祉論、児童・家庭福祉論、障害者福祉論、国際福祉論、社会調査の基礎、医療概論、精神医学、日本国憲法、行</p>

	<p>※2015 年度より開設のため、1 年次の前期科目及び通年科目の前期分の授業評価を掲載</p>	<p>政学、公共マネジメント、政治学原論（国際政治を含む）、経済原論（国際経済を含む）、社会学原論、東北の地域課題、応用数学Ⅰ、応用数学Ⅱ</p> <p>福祉行政総論、福祉行政各論、社会福祉行政財政論、社会政策論、福祉計画法、地方自治法、行政法、社会福祉の政策過程論、社会保障論、地域福祉論、社会保険論、地域減災論、公衆衛生学、公的扶助論、地方自治（地域財政を含む）、財政学、就労支援サービス論</p> <p>政治学原書講読、国際関係論、国際協力論、国際政治論、マスコミュニケーション論、マクロ経済学、ミクロ経済学、日本経済論、会計学、民法総則、労働法（労働組合法を含む）、家族法、物権法、債権法、商法、更生保護制度（刑法を含む）</p> <p>災害概論、災害復興支援論、防災マネジメント論、原子力災害論、災害福祉論Ⅰ、災害福祉論Ⅱ</p>
	<p>福祉心理学科 (71.7%)</p>	<p><b>心理学の基礎</b></p> <p>心理学概論、福祉心理学、臨床心理学、生涯発達心理学概論、生涯発達心理学各論、教育心理学概論（教育心理学概論 B）、教育心理学各論、環境心理学、人格心理学、社会心理学、健康心理学概論</p> <p>家族心理学、乳幼児心理学、児童青年心理学、老年心理学、産業心理学、感性心理学、色彩と心理、感性情報処理論、認知心理学、学習心理学、健康教育概論、産業カウンセリング、心理統計学の基礎、心理統計学の応用、心理学実験、心理学研究法Ⅰ、心理学研究法Ⅱ</p> <p>発達臨床心理学、思春期の発達と臨床、心理アセスメント、カウンセリング演習、発達心理アセスメント概論、健康心理アセスメント概論、健康心理カウンセリング概論、健康心理カウンセリング実習、心理療法</p> <p>学校保健、養護概説、養護活動論、健康相談活動（理論及び方法）、健康相談</p>
<p>総合福祉 マネジメント学部</p>	<p>産業福祉マネジメント学科 (70.6%)</p>	<p>マネジメント基礎論、東北の地域課題、経済原論（国際経済を含む）、社会福祉原論（職業指導を含む）、高齢者福祉論、障害者福祉論、産業福祉マネジメント論、公共マネジメント論、社会政策論、日本国憲法、産業社会学</p> <p>地域マネジメント論、地域活性化マネジメント論、地域共創福祉論、地域共創実学教育Ⅰ、地域共創実学教育Ⅱ、地域共創実学教育Ⅲ、地域共創実学教育Ⅳ</p> <p>日本経済論、生活経済論、金融論、社会保障論、経営管理論、リーダーシップ論、人事管理論、財務管理論、経営情報論、国際ビジネス論、マーケティング論、中小企業論、リスクマネジメント論、社会貢献論、サービスマネジメント論、ナレッジマネジメント、会計学、簿記、商法、労働法（労働組合法を含む）、産業心理学、財政学、流通論、地域産業論、現代企業論</p> <p>行政学、地方自治、国際関係論、NPO 論、まちづくり論、社会調査法、民法総則、地域とスポーツ、コミュニティビジネス論、食生活環境論、ユニバーサルデザイン論</p> <p>災害概論、原子力災害論、災害情報論、地域減災論Ⅰ、災害復興支援論、災害福祉論Ⅰ、防災マネジメント論、地域防災コミュニティ論</p> <p>労働基準法、労働衛生法規、生理学、病理学、成人保健、環境衛生学、産業医学、労働衛生工学、労働衛生実習、救急処置法、教育方法論（情報機器及び機材の活用</p>

		を含む)、産業安全心理学、公衆衛生学
	情報福祉マネジメント学科 (51.7%)	<p>マネジメント基礎論、経済原論(国際経済を含む)、社会福祉原論(職業指導を含む)、高齢者福祉論、障害者福祉論</p> <p>情報福祉マネジメント論、情報処理論Ⅰ、情報処理論Ⅱ、情報福祉基礎実習Ⅰ、情報福祉基礎実習Ⅱ、プログラミング基礎Ⅰ、プログラミング基礎Ⅱ、データ構造とアルゴリズムⅠ、データ構造とアルゴリズムⅡ、表現基礎演習、経営と数学、情報英語 1、情報倫理、情報社会学、ハードウェア論、オペレーティングシステム論、データベース論、情報ネットワーク論、情報ネットワーク基礎実習、クリエイティブデザイン論、身体表現Ⅰ、身体表現Ⅱ</p> <p>情報支援技術論、情報支援ケーススタディ、情報システム設計論、情報セキュリティ管理論、情報処理資格対策Ⅰ、情報処理資格対策Ⅱ、国際メディア論、MANGA メディア論、ソーシャルメディア論、ヒューマンデザイン論、インフォメーションデザイン論、ネットワークコミュニケーション論、創造言語表現論、創造表現技法、創造表現応用技法、ユニバーサルデザイン論、ヒューマンインターフェース論</p> <p>情報福祉応用実習Ⅰ、情報福祉応用実習Ⅱ、プログラミング応用Ⅰ、プログラミング応用Ⅱ、デジタルデザイン基礎実習、デジタルデザイン応用実習、表現応用演習、情報支援基礎実習、情報支援応用実習、スイッチインターフェース作成実習、3 DCG 技法、Web サイトデザイン演習、情報ネットワーク応用実習、モバイルコンピューティング、デスクトップパブリッシング</p> <p>日本経済論、生活経済論、金融論、社会保障論、経営管理論、リーダーシップ論、人事管理論、財務管理論、経営情報論、国際ビジネス論、マーケティング論、中小企業論、リスクマネジメント論、社会貢献論、サービスマネジメント論、ナレッジ・マネジメント、会計学、簿記、商法、労働法(労働組合法を含む)、産業心理学、財政学、流通論、地域産業論、現代企業論</p>
教育学部	教育学科 初等教育専攻 (66.2%)  ※2015 年度より開設のため、1 年次の前期科目及び通年科目の前期分の授業評価を掲載	<p>日本国憲法、教育学概論 A、教育社会学概論 A、教育社会学各論、家族社会学、生涯学習概論、社会福祉原論(職業指導を含む)、児童・家庭福祉論、生涯発達心理学概論、生涯発達心理学各論、教育心理学概論 A、教育心理学各論、教職論 A、教育法規の研究、教育史、保育原理、保育者論、特別支援教育の基礎、教育実践活動Ⅰ、教育実践活動Ⅱ、教育実践活動Ⅲ、教育実践活動Ⅳ</p> <p>保育相談支援、幼児理解と教育相談、社会的養護、社会的養護内容、保育の心理学Ⅰ、保育の心理学Ⅱ、子どもの保健Ⅰ、子どもの保健Ⅱ、子どもの食と栄養、乳児保育、障害児保育</p> <p>教育方法論(情報機器及び教材の活用法を含む) A、教育相談の理論と方法 A、道徳の指導法 A、道徳の教材研究、特別活動の指導法 A、生徒指導・進路指導論 A、教職実践演習</p> <p>保育課程論、保育内容総論、保育内容研究(健康)、保育内容研究(人間関係)、保育内容研究(環境)、保育内容研究(言葉)、保育内容研究(表現・美術)、保育内容研究(表現・音楽)、保育内容研究(運動あそび)、保育実習指導Ⅰ、保育実習指導Ⅱ、保育実習Ⅰ、保育実習Ⅱ、保育実践演習</p> <p>国語科概論(書写を含む)、社会科概論、算数概論、理科概論、生活科概論、家庭科</p>

		<p>概論、<b>表現技術 I (音楽)</b>、表現技術 II (音楽)、表現技術 III (美術)、表現技術 IV (体育実技)、初等教育課程の意義と編成、国語科の指導法、社会科の指導法、算数科の指導法、理科の指導法、生活科の指導法、家庭科の指導法、音楽科の指導法、図画工作科の指導法、体育科の指導法、国語科教材研究、社会科教材研究、算数科教材研究、理科教材研究 (実験)、生活科教材研究、家庭科教材研究、音楽教育、児童美術論、体育科教材研究、幼児運動論、地域研究法 (調査を含む)、英語活動概論、英語活動の指導法、英語活動の教材研究、NIE 活動論、NIE 活動の教材研究、教育実習 (幼・小) の事前指導、教育実習 (幼・小) の事前事後指導、教育実習 (幼・小)</p> <p>特別支援教育総論、知的障害者の心理・生理・病理、肢体不自由者の心理・生理・病理、病弱者の心理・生理・病理、聴覚障害者の心理、聴覚障害者の生理・病理、知的障害者教育論、肢体不自由者教育論、病弱者教育論、聴覚障害者教育論、重複障害者教育総論、発達障害者教育総論、自閉症者教育総論、言語障害者教育総論、視覚障害者教育総論、特別支援教育実習の事前指導、特別支援教育実習の事前事後指導、特別支援教育実</p> <p>障害児の学習支援、学校経営と学校図書館、学校図書館とメディアの構成、学習指導と学校図書館、読書と豊かな人間性、情報メディアの活用、教育学特殊講義 I、教育学特殊講義 II、教育学特殊講義 III、児童精神医学、睡眠健康科学、家庭支援論、人間関係論、家族心理学、思春期の発達と臨床、臨床心理学、発達臨床心理学、発達心理アセスメント概論、健康心理アセスメント概論、健康心理カウンセリング概論、災害概論、地域減災論 I、原子力災害論、社会貢献論</p>
	<p>教育学科 中等教育専攻 (68.3%)</p> <p>※2015 年度より開設のため、1 年次の前期科目及び通年科目の前期分の授業評価を掲載</p>	<p><b>日本国憲法</b>、教育学概論 B、教育社会学概論 B、教育社会学各論、家族社会学、生涯学習概論、社会福祉原論 (職業指導を含む)、<b>児童・家庭福祉論</b>、生涯発達心理学概論、生涯発達心理学各論、教育心理学概論 B、教育心理学各論、<b>教職論 B</b>、教育法規の研究、教育史、<b>保育原理</b>、保育者論、特別支援教育の基礎、教育実践活動 I、教育実践活動 II、教育実践活動 III、教育実践活動 IV</p> <p>教育方法論 (情報機器及び教材の活用法を含む) B、教育相談の理論と方法 B、道徳の指導法 B、道徳の教材研究、特別活動の指導法 B、生徒指導・進路指導論 B、教職実践演習</p> <p>中等教育課程の意義と編成、社会科の指導法 I (地理歴史)、社会科の指導法 II (公民)、地理歴史科指導法、公民科指導法、人文地理学、自然地理学、地誌、地域研究法 (調査を含む)、<b>日本史概説</b>、日本文化史、日本仏教史、日本思想史、日本美術史、東洋史概説、西洋史概説、西洋美術史、社会学原論、<b>福祉社会学</b>、法学概論 (国際法を含む)、経済原論 (国際経済を含む)、政治学原論 (国際政治を含む)、倫理学概論、宗教学概論、仏教学概論、心理学概論</p> <p>障害児の学習支援、学校経営と学校図書館、学校図書館とメディアの構成、学習指導と学校図書館、読書と豊かな人間性、情報メディアの活用、NIE 活動論、NIE 活動の教材研究、教育学特殊講義 I、教育学特殊講義 II、教育学特殊講義 III、児童精神医学、睡眠健康科学、家庭支援論、人間関係論、家族心理学、思春期の発達と臨床、臨床心理学、発達臨床心理学、発達心理アセスメント概論、健康心理アセスメ</p>

		ント概論、健康心理カウンセリング概論、災害概論、原子力災害論、社会貢献論
健康科学部	保健看護学科 (70.2%)	看護学概論、基礎看護学Ⅰ、基礎看護学Ⅱ、基礎看護学Ⅲ、基礎看護学実習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学概論、クリティカルケア、慢性病者看護論、成人看護学実習、老年看護学概論、老年看護援助論Ⅰ、老年看護援助論Ⅱ、老年看護学実習Ⅰ、老年看護学実習Ⅱ、小児看護学概論、小児看護援助論Ⅰ、小児看護援助論Ⅱ、小児看護学実習、母性看護学概論、母性看護援助論Ⅰ、母性看護援助論Ⅱ、母性看護学実習、精神看護学概論、精神看護援助論Ⅰ、精神看護援助論Ⅱ、精神看護学実習 公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護援助論Ⅰ、公衆衛生看護援助論Ⅱ、公衆衛生看護援助論Ⅲ、産業・学校看護論、公衆衛生看護学実習Ⅰ、公衆衛生看護学実習Ⅱ 地域看護学概論、在宅看護論、家族看護論、ケア・マネジメント論、在宅看護学実習 看護体験実習、看護管理、リスクマネジメント、看護教育学、国際・災害看護論、感性福祉活動看護論、リハビリテーション看護論、看護研究方法論Ⅰ、看護研究方法論Ⅱ、統合実習+
	リハビリテーション学科 作業療法専攻 (96.5%)	解剖学Ⅰ（筋骨格系）、解剖学実習（筋骨格系）、解剖学Ⅱ（神経系・内臓系）、人体生理学、人体生理学実習、運動学Ⅰ、運動学Ⅱ、人間発達学 疾病と障害総論Ⅰ、疾病と障害総論Ⅱ、神経系障害とリハビリテーション、骨・関節障害とリハビリテーション、内部障害とリハビリテーション、発達障害とリハビリテーション、老年期障害とリハビリテーション、精神障害とリハビリテーション、臨床心理学 リハビリテーションの理念と概要、リハビリテーション実践 作業療法概論、作業科学Ⅰ、作業科学Ⅱ、作業Ⅰ（健康と作業）、作業Ⅱ（生活と作業）、作業の評価と実践、作業療法研究法 作業療法評価学総論、作業療法評価学Ⅰ、作業療法評価学Ⅱ、作業療法評価学Ⅲ 作業療法の介入と適用、身体障害と作業療法学Ⅰ、身体障害と作業療法学Ⅱ、身体障害と作業療法学Ⅲ、精神障害と作業療法学Ⅰ、精神障害と作業療法学Ⅱ、発達障害と作業療法学、老年期障害と作業療法学、高次脳機能障害と作業療法学、生活技術学、生活技術学実習、テクノエイドと代償学 地域作業療法学Ⅰ、地域作業療法学Ⅱ ボランティア実習Ⅰ、評価実習Ⅰ、評価実習Ⅱ、実践実習Ⅰ、実践実習Ⅱ 作業療法総合特論
	リハビリテーション学科 理学療法専攻 (93.8%)	解剖学Ⅰ（筋骨格系）、解剖学実習（筋骨格系）、解剖学Ⅱ（神経系・内臓系）、人体生理学、人体生理学実習、運動学Ⅰ、運動学Ⅱ、人間発達学 疾病と障害総論Ⅰ、疾病と障害総論Ⅱ、神経系障害とリハビリテーション、骨・関節障害とリハビリテーション、内部障害とリハビリテーション、発達障害とリハビリテーション、老年期障害とリハビリテーション、精神障害とリハビリテーション、臨床心理学 リハビリテーションの理念と概要、リハビリテーション実践 理学療法概論、基礎理学療法、理学療法研究法

		<p>理学療法評価学Ⅰ、<b>理学療法評価学Ⅱ</b>、運動動作分析学</p> <p>基礎運動療法学、運動器系理学療法学Ⅰ、<b>運動器系理学療法学Ⅱ</b>、発達系理学療法学Ⅰ、発達系理学療法学Ⅱ、神経系理学療法学Ⅰ、<b>神経系理学療法学Ⅱ</b>、<b>神経系理学療法学Ⅲ</b>、内部障害系理学療法学Ⅰ、内部障害系理学療法学Ⅱ、<b>高齢者・生活系理学療法学</b>、義肢装具学、<b>義肢装具学実習</b>、<b>物理療法学</b>、物理療法学実習、日常生活活動</p> <p><b>地域理学療法学Ⅰ</b>、地域理学療法学Ⅱ</p> <p>見学実習、評価実習、実践実習Ⅰ、実践実習Ⅱ</p> <p>理学療法総合特論</p>
	医療経営管理学科 (83.2%)	<p>医療概論</p> <p>人体構造・機能論</p> <p>臨床医学総論、<b>医学用語</b>、<b>医療情報学</b>、<b>医療経営概論</b>、医療管理総論</p> <p><b>臨床医学各論Ⅰ</b>、<b>臨床医学各論Ⅱ</b>、<b>臨床医学各論Ⅲ</b>、<b>臨床医学各論Ⅳ</b>、<b>臨床医学各論Ⅴ</b>、<b>臨床医学各論Ⅵ</b>、<b>臨床医学各論Ⅶ</b>、<b>臨床医学各論Ⅷ</b>、<b>国際疾病分類概論</b>、<b>医療統計学</b>、<b>分類法Ⅰ</b>、<b>分類法Ⅱ</b>、<b>e-ヘルスケア論</b>、<b>病院組織論</b>、<b>医薬品学</b></p> <p><b>医療管理各論Ⅰ</b>、<b>医療管理各論Ⅱ</b>、<b>診療情報管理論Ⅰ</b>、<b>診療情報管理論Ⅱ</b>、<b>医療経営戦略論</b>、<b>医事会計概論</b></p> <p>医療情報システム運用実習</p>

研究科	専攻等(平均回答率)	基幹的科目 (赤字…今回の授業評価の集計対象科目)
総合福祉学研究科	社会福祉学専攻 (55.6%)	<p>社会福祉学原理論術研究、高齢者福祉研究、精神保健福祉研究、生活構造研究、<b>地域福祉研究</b>、国際福祉研究、障害者福祉学特講、社会福祉政策研究、社会保障研究、社会福祉経済研究、社会福祉法制研究、家族福祉法システム研究、社会福祉理論史研究、社会福祉援助技術演習、社会福祉特別研究講義、リハビリテーション特論、健康増進と予防システム、情報解析論</p> <p><b>児童福祉研究</b>、<b>家族ソーシャルワーク研究</b>、児童福祉法制研究、児童心理研究、臨床発達心理研究Ⅰ、臨床発達心理研究Ⅱ</p> <p>高齢者心理研究、高齢者行動研究、障害者心理研究、精神医学研究、感性福祉研究</p>
	福祉心理学専攻 福祉心理学分野 (80.7%)	<p><b>福祉心理学特講Ⅰ</b>、<b>臨床発達心理学特講Ⅰ</b>、環境心理学特講、福祉心理学演習Ⅰ、<b>福祉心理学演習Ⅱ</b></p> <p>心理学研究法特講、臨床発達心理学特講Ⅱ、<b>言語発達心理学特講</b>、認知心理学特講、<b>発達臨床学特講Ⅰ</b>、<b>発達臨床学特講Ⅱ</b>、<b>行動心理学特講</b>、<b>人格心理学特講</b>、<b>教育臨床学特講</b>、<b>社会心理学特講</b>、<b>犯罪・非行心理学特講</b>、<b>老年心理学特講</b>、<b>精神医学特講</b>、<b>福祉心理学特講Ⅱ</b>、<b>社会・感情心理学特講Ⅰ</b>、<b>社会・感情心理学特講Ⅱ</b></p>
	福祉心理学専攻 臨床心理学分野 (68.0%)	<p><b>臨床心理学特講Ⅰ</b>、<b>臨床心理学特講Ⅱ</b>、<b>臨床心理面接特講Ⅰ</b>、<b>臨床心理面接特講Ⅱ</b>、<b>臨床心理査定演習Ⅰ</b>、<b>臨床心理査定演習Ⅱ</b></p> <p>心理学研究法特講、臨床心理学研究法特講Ⅰ、臨床心理学研究法特講Ⅱ、<b>行動心理学特講</b>、<b>人格心理学特講</b>、<b>教育臨床学特講</b>、<b>発達臨床学特講</b>、<b>社会心理学特講</b>、<b>犯罪・非行心理学特講</b>、<b>老年心理学特講</b>、<b>精神医学特講</b>、<b>臨床精神病理学特講</b>、心理</p>

		療法特講Ⅰ、心理療法特講Ⅱ、 <b>心理療法特講Ⅲ</b> 、心理療法特講Ⅳ、心理療法特講Ⅴ、心理療法特講Ⅵ
教育学研究科	教育学専攻	教育思想史特、教育社会学特論、教師教育学特論、教育情報学特論、教育心理学特論、教授学習心理学特、臨床発達心理学特論、保育学特論、福祉社会学特論、教育学特別研究Ⅰ（教育・発達分野）、教育学特別研究Ⅱ（教育情報分野） 教育学特別研究Ⅲ（特別支援教育分野）、授業分析研究 A（人文社会科学系領域）、授業分析研究 B（自然科学系領域）、授業開発研究特論、国語科教育特論、社会科教育特論、算数科教育特論、理科教育特論、歴史学特論、政治学特論、経済学特論、法律学特論、地理学特論、地域調査特別研究（実習を含む） 特別支援教育特論、発達障害者教育特論、障害児学習支援特論、障害児・者の心理特論、言語障害者教育特論、自閉症者・情緒障害者教育特論、聴覚障害者教育特論、知的障害者教育特論、肢体不自由者教育特論、病弱者教育特論、児童精神医学特論、障害児教育支援特論、障害者福祉特論、特別支援教育コーディネーター特論、発達障害児教育実践研究

注) 前期（集中講義を除く）実施の全授業科目（1329 授業）の平均回答率は 61.9%（分母は授業評価アンケート開始時の履修登録者数）

## 参考 2 授業評価の共通項目

### I. 基本属性

- 1) 所属学部学科・研究科専攻分野（社会福祉学科・社会教育学科・福祉心理学科・福祉行政学科・産業福祉マネジメント学科・情報福祉マネジメント学科・子ども教育学科・教育学科・保健看護学科・リハビリテーション学科・医療経営管理学科・その他の学部授業の受講学生・総合福祉学研究所社会福祉学専攻・総合福祉学研究所福祉心理学専攻・教育学研究科教育学専攻・その他の大学院授業の受講学生）
- 2) 学年（1年・2年・3年・4年・修士1年・修士2年・博士1年・博士2年・博士3年・その他）
- 3) 性別（男・女）
- 4) この授業の履修の目的・理由について（あてはまるものすべてを選んでください）
  - ①必修の科目だった
  - ②資格取得のため必要だった
  - ③シラバスを読んで興味を持った
  - ④授業科目名に関心を持った
  - ⑤担当教員に関心を持った
  - ⑥教員、先輩、友人などから勧められた
  - ⑦時間割の都合で履修可能な授業科目だった
  - ⑧その他

その他の場合は、その目的・理由を記入してください。

II. この授業へのあなた自身の取り組み方について、以下の項目にどの程度あてはまりますか？

1) 授業全体を通じての現時点での出席率（次の中から一つ選んでください）

- ④100%～90% ③89%～70% ②69%～50% ①50%未満

70%未満の場合は、その理由を記入してください。

--

2) この授業に関連して、1週間に平均して授業時間外（事前、事後）に学習（学修）した時間（次の中から一つ選んでください）

- ④3時間以上 ③2～3時間 ②1～2時間 ①1時間未満

3) この授業を受ける前に、シラバスを読みましたか。

- ④とてもよく読んだ ③ある程度読んだ ②あまり読まなかった ①全く読まなかった

4) この授業の学習（学修）に意欲的、主体的に取り組みましたか（課題に対して積極的に取り組む、質問するなど）。

- ④とても意欲的だった ③ある程度意欲的だった ②あまり意欲的でなかった

①全く意欲的でなかった

5) この授業に対して授業のマナーを守り、協力的に取り組みましたか（遅刻せず出席する、私語を慎む、携帯電話をマナーモードにして使用を控えるなど）。

- ④とても協力的だった ③ある程度協力的だった ②あまり協力的でなかった

①全く協力的でなかった

III. この授業への教員の取り組み方について、以下の項目にどの程度あてはまりますか。

1) シラバスの内容は、学生の身になって具体的にわかりやすく書かれており、受講や実際の授業（授業時間外学修や成績評価を含む）に役立ちましたか。

- ④とても役立った ③ある程度役立った ②あまり役立たなかった ①全く役立たなかった

2) 授業の内容と方法は、シラバスに沿っていましたか。

- ④とても沿っていた ③ある程度沿っていた ②あまり沿っていなかった

①全く沿っていなかった

3) 教員の話し方や声の大きさは、明瞭ではっきりとしており、聞き取りやすかったですか。

- ④とても聞き取りやすかった ③ある程度聞き取りやすかった ②少し聞き取りにくかった

①全く聞き取れなかった

4) 板書またはプレゼンテーション用ソフト（パワーポイントなど）やプロジェクターなどを見やすく適切に使いましたか。

- ④とても見やすかった ③ある程度見やすかった ②少し見づらかった ①全く見えなかった

5) 授業の理解を助け深めるのに、講義・演習・実験などでは適切な補助教材（視聴覚教材や資料、事例など）を、実技・演習・実験などでは適切な指導（視聴覚教材や模範例・模範演技、実演、ロールプレイ、シミュレーション体験など）を用いていましたか。

- ④とても用いていた ③ある程度用いていた ②あまり用いていなかった

- ①全く用いていなかった
- 6) 学生が質問や意見を出しやすいように工夫を行い、質問に適切に応じていましたか（ペアワーク・グループワークによる質問・感想の共有、コメントシート・UNIVERSAL PASSPORTのQ&Aやクラスフォーラム・オフィスアワーの利用など）。
- ④とても質問しやすかった ③ある程度質問しやすかった ②あまり用いてなかった  
①全く用いていなかった
- 7) 授業を進める上で、教室の広さや空調、教室移動時間、実習期間などに応じた配慮を行っていましたか（板書の字の大きさ、終了時間の厳守、補講、eラーニングなど）
- ④とても配慮があった ③ある程度配慮があった ②あまり配慮がなかった  
①全く配慮がなかった
- 8) 授業への熱意や意欲が感じられましたか。
- ④とても感じられた ③ある程度感じられた ②あまり感じられなかった  
①全く感じられなかった
- 9) 適切な授業構成を行っていましたか（講義などでは導入：前回の復習、例示、問題提起など、展開：仮説の検証、実例・事例、異なる知見・最新の知見など、まとめ：結論、次回の予告など、演習・実技・実験などでは課題設定、問題発見解決・体験・実践、発表・報告など）。
- ④とても行っていた ③ある程度行っていた ②あまり行っていなかった  
①全く行っていなかった
- 10) 学習効果を高めるための授業方法の工夫（学生と教員の対面型授業や課題へのフィードバックなどの双方向授業、主体的な学習など）や授業の改善に関する学生の意見などを取り入れていましたか。
- ④とても取り入れていた ③ある程度取り入れていた ②あまり取り入れていなかった  
①全く取り入れていなかった
- 11) 総合的に考えて、教員の教え方や姿勢は学習者にとって効果的でしたか
- ④とても効果的だった ③ある程度効果的だった ②あまり効果的でなかった  
①全く効果的でなかった

#### IV. この授業について、以下の項目にどの程度あてはまりますか？

- 1) 授業の分量は適切でしたか。
- ④ちょうどよかった ③十分こなせたが、少なすぎた ②こなせたが、多すぎた  
①全くこなしきれないほど、多すぎた
- 2) 授業の進行ペースは適切でしたか。
- ④ちょうどよかった ③十分ついていけたが、遅すぎた ②ついていけたが 速すぎた  
①全くついていけないほど、速すぎた
- 3) 授業はわかりやすかったですか。
- ④とてもわかりやすかった ③ある程度わかりやすかった ②少しわかりにくかった  
①全くわかりにくかった
- 4) 授業は深まりがありましたか。
- ④とても深まりがあった ③ある程度深まりがあった ②あまり深まりがなかった  
①教科書を読む程度で全く深まりがなかった

V. この授業を受けた結果について、以下の項目にどの程度あてはまりますか？

1) 授業の内容がよく理解できましたか。

- ④とてもよく理解できた ③ある程度理解できた ②あまり理解できなかった  
①全く理解できなかった

2) 授業の到達目標が達成できた、または達成できそうですか。(※到達目標について不明の際はシラバスをご覧ください)

- ④とてもよく達成できた ③ある程度達成できた ②あまり達成できなかった  
①全く達成できなかった

3) 授業の内容に対して興味や関心が喚起されましたか。

- ④とてもよく喚起された ③ある程度喚起された ②あまり喚起されなかった  
①全く喚起されなかった

4) 教養あるいは専門の知識や技能、態度を身に付けることができましたか。

- ④とてもよく身に付けた ③ある程度身に付けた ②あまり身に付けることができなかった  
①全く身に付けることができなかった

5) テーマについて自ら調べ（文献、実地調査、関係者の意見聴取など）、考え、行動する学修経験を積むことができましたか。

- ④とてもよく経験を積むことができた ③ある程度経験を積むことができた  
②あまり経験を積むことができなかった ①全く経験を積むことができなかった

6) ものごとを多角的に考え、新たな見方や柔軟な発想などができるようになりましたか。

- ④とてもよくできるようになった ③ある程度できるようになった  
②あまりできるようにならなかった ①全くできるようにならなかった

7) 総合的に考えて、この授業は自分にとって有意義で満足できるものでしたか。

- ④非常満足できものだった ③ある程度満足できるものだった  
②あまり満足できるものではなかった ①全く満足できるものではなかった

VI. この授業およびこの授業のシラバスについて、よかった点、改善してほしい点や要望があれば、ご意見をお聞かせください。

よかった点

--

改善してほしい点や要望

--

### 参考3 外国語科目において追加された評価項目

#### ●Ⅲに追加（外国語Ⅰ以外の外国語科目では、6）のみ追加）

6) 授業中、教員は視聴覚教材や口頭での指導などにおいて、学んでいる言語に触れる機会を十分に与えていましたか。

- ④十分に与えていた ③ある程度与えていた ②あまり与えていなかった  
①全く与えていなかった

7) 授業では学んでいる言語を使ってコミュニケーションを取る機会が十分に与えられていましたか。

- ④十分に与えていた ③ある程度与えていた ②あまり与えていなかった  
①全く与えていなかった

#### ●Ⅳに追加

5) 教材(教科書・プリント等)の難易度はおおむね適切で、理解でき、役に立つ内容でしたか。

- ④とても理解でき役に立った ③ある程度理解でき役に立った  
②あまり理解できず役に立たなかった ①全く理解できず役に立たなかった

6) 授業であまり重視されていなかったのは以下のどのスキルでしたか。

- ④Speaking ③Listening ②Reading ①Writing

#### ●Ⅴに追加

2) 予習・復習の課題は語学のスキルを高めるのに役に立ちましたか。

- ④とても役に立った ③ある程度役に立った ②あまり役に立たなかった  
①全く役に立たなかった

5) 授業を通じて、外国語および外国の文化に対する関心を高めることができましたか。

- ④とても高めることができた ③ある程度高めることができた  
②あまり高めることができなかった ①全く高めることができなかった

7) 受講後にも役に立つ語学学習の方略や学習方法、考え方について学ぶことができましたか。

- ④とても学ぶことができた ③ある程度学ぶことができた ②あまり学ぶことができなかった  
①全く学ぶことができなかった

10) 授業を通じて、最も伸びたスキルはどれでしたか。

- ④Speaking ③Listening ②Reading ①Writing